

公開シンポジウム

これからの 文化財防災を 考える

—熊本地震と令和2年7月豪雨の経験から

2022年6月17日（金）13:00～

会場：熊本県立美術館 会場参加（40名）とオンラインによる配信

1995年の阪神・淡路大震災以降、わが国ではさまざまな文化財レスキューがおこなわれ、文化財防災の在り方について活発な議論がおこなわれてきた。こうした動向は、熊本県においてもみられ、特に平成28（2016）年の熊本地震、あるいは令和2（2020）年7月の豪雨災害は、文化財防災の在り方の議論を加速させている。

そこで、本シンポジウムでは、熊本地震と令和2年7月豪雨における熊本史料ネットの経験、あるいは令和2年に国立文化財機構に設置された文化財防災センターの活動を通して、これからの文化財防災の在り方を考える。ここでは、文化財レスキュー活動の射程の在り様、地域との信頼関係の築くための平常時の活動の重要性、あるいは地域に所在する文化財の悉皆調査の在り方を中心に議論を深めていきたい。

プログラム

総合司会： 萬納恵介（熊本県立美術館）

13:00 開会挨拶 三浦定俊（文化財保存修復学会理事長）

13:05 趣旨説明 日高真吾（国立民族学博物館）

13:10 基調講演（60分）

「熊本地震後の文化財保護 —その経験と学び— 稲葉継陽（熊本大学）

14:10 休憩

14:20 事例報告（各25分）

「文化財レスキューと社会還元 —熊本被災史料レスキューネットワークの取り組みから—

今村直樹（熊本大学）

「令和2年7月熊本県豪雨における文化財レスキュー」有木芳隆（熊本県立美術館）

「文化財防災センターの役割と今後の展望」小谷竜介（国立文化財機構文化財防災センター）

15:35 コメント 高妻洋成（国立文化財機構文化財防災センター長）

15:40 休憩

15:50 パネルディスカッション（60分）

コーディネーター： 加藤和歳（九州歴史資料館）

パネリスト： 今村直樹、有木芳隆、小谷竜介

16:50 閉会挨拶 本田光子（文化財保存修復学会副理事長）

主催：文化財保存修復学会・熊本大学永青文庫研究センター・人間文化研究機構国立民族学博物館

共催：国立文化財機構文化財防災センター

協力：熊本県立美術館

後援：日本文化財科学会、国宝修理装演師連盟

※オンライン配信も予定しております。詳細は文化財保存修復学会第44回大会HPをご確認ください。



稲葉 継陽（いなば つぐはる）熊本大学永青文庫研究センター

1967年生まれ。立教大学大学院文学研究科で学位取得。2000年4月に熊本大学文学部助教授、2009年から熊本大学永青文庫研究センター教授。2014年から同センター長。専門は日本中世史・近世史、特に戦国期・近世初期の社会構造研究。2016年4月の熊本地震直後に結成された熊本被災史料レスキューネットワークの代表をつとめる。



今村 直樹（いまむら なおき）熊本大学永青文庫研究センター

1979年生まれ。熊本県熊本市出身。名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（歴史学）。静岡大学人文社会科学部准教授を経て2017年より現職。専門は日本近世史・近代史（明治維新史）。2017年より熊本被災史料レスキューネットワーク事務局次長を務め、熊本県内における被災歴史資料などの保全活動に取り組んでいる。



有木 芳隆（ありき よしたか）熊本県立美術館

1960年生まれ。九州大学文学部哲学科（美学美術史専攻）卒業。熊本県立美術館学芸員を経て、2019年より同館副館長兼学芸課長。熊本県内をはじめ、九州各地の仏教美術（とくに仏神像彫刻）の調査研究、保護活動に取り組んできた。大分県及び鹿児島県、熊本市文化財保護審議会委員。崇城大学芸術学部講師（非常勤）。



小谷 竜介（こだに りゅうすけ）国立文化財機構文化財防災センター

埼玉大学大学院文化科学研究科修了。東北歴史博物館、宮城県教育庁文化財保護課を経て現職。専門は日本民俗学、文化人類学。主として民俗芸能、工芸技術に関心を持っている。現在は文化財防災、特に民俗文化財の防災体制づくりに取り組んでいる。



加藤 和歳（かとう かずとし）九州歴史資料館

九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻修了。福岡県教育庁文化財保護課を経て現職。専門は保存科学、記録史料学。現在は、文化財の構造技法解析、記録史料の保存管理に関する研究を中心に、平成29年九州北部豪雨、令和2年7月豪雨による被災資料の応急処置に取り組んでいる。

申し込み 方法

下記、E-mailにて必要事項を記入のうえお申し込みください。
E-mail: bunkazai☆minpaku.ac.jp
※☆を@マークに変換して送信ください。

申し込み 記入事項

- ・氏名
 - ・E-mail アドレス
 - ・所属（勤務先もしくは学校名）
 - ・文化財保存修復学会（会員・非会員）
 - ・参加形態（会場・オンライン配信）
- なお、会場参加が満席となった場合はオンライン参加をお願いすることがございます。

※参加申し込みにてご提供いただきました個人情報、本シンポジウムの受付と統計・分析および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。

文化財保存修復学会公開シンポジウム実行委員会

実行委員長：三浦定俊（文化財保存修復学会理事長）

副実行委員長：本田光子（文化財保存修復学会副理事長）

実行委員：有木芳隆（熊本県立美術館）、今村直樹（熊本大学）、加藤和歳（九州歴史資料館）、河村友佳子（国立民族学博物館）、橋本沙知（国立民族学博物館）、日高真吾（国立民族学博物館）、間瀬創（国立文化財機構文化財活用センター）、萬納恵介（熊本県立美術館）、和田浩（東京国立博物館）